

# 総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

事業期間 H21 ～ H23

担当部局	部局名	保健福祉部
	課室名	健康推進課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）		
基本施策ID	基本施策名	
1 - 1 - 1	一人ひとりが健康づくりを進められる環境をつくる	
重点施策ID	重点施策名	
1 - 1 - 1 - 3	心の健康づくり	

2. 事業名等			
事業名	うつ病対策推進事業	事業区分	② ①新規 ②継続 ③その他 ( )
細事業名		実施形態	① ①毎年 ②隔年 ③その他 ( )
事業主体	豊肥保健所・市		④ ①直営 ②指定管理 ③委託
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務		④その他 ( 県と合同開催 )
実施期間	平成 19 年度 ～ 平成 21 年度	根拠法規	自殺対策基本法
各種の計画への反映 (=根拠計画)			事業ID

3. 事業の内容等			
事業の背景 平成18年6月に「自殺対策基本法」が成立したことにより、市町村にその対策が課された。豊後大野市は、県内でも自殺率が高く（SMR：県104.5 市139.5）、精神科医療機関が市内にないことから、県の自殺・うつ対策推進事業のモデル地域に指定された。平成19年～21年までの3か年事業。市も県と共同で自殺・うつ対策に取り組むこととした。	補助事業	名称	
		補助率	国 県 その他 1/ 1/ 1/
	起債の類	① ② ③	

事業の目的及び対象	事業概要
【目的】 自殺とうつ病とは深い関係があることから、うつ病について市民に普及啓発をし、早期発見をすることで自殺を予防する。	<うつ病の普及啓発と早期発見> ・基本健診時受診者を対象に、うつ病の一次、二次スクリーニングを実施 ・講演会の開催 <相談できる人材の育成> ・相談支援者に対してのスキルアップ研修
【対象】 18歳以上の基本健診受診者 2,300名	前年度の評価 評価結果に基づき見直した内容 E うつ病の自己チェックの普及活動の推進 維持

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)								
財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			100	127	29		
	計			100	127	29		
決算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他			49	8			
	一般財源			49	8			
	計			49	8			

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成18年度	平成19年度	平成20年度	課題
【実績】	【実績】 三重・清川で実施。 受診者309名 ・要フォロー者9名 ・要医療者8名	【実績】 緒方・大野・三重・朝地で実施。 1次実施者783名 2次実施者51名(拒否者50名) 2次結果：要フォロー者5名、要医療者2名、要観察者3名	スクリーニング実施者、マンパワーの確保

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値							
活動指標	うつスクリーニングの実施件数 二次精密者のフォロー件数						
効率指標	-						
成果指標	標準化死亡比 (SMR)						
	単位 %						
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考
種別			死亡比	死亡比	死亡比		
目標値			139.5	県レベル±0	県レベル±0		
実績値			139.5				
達成率			100.0%				
備考	数値決定後に入力						

# 総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

評価対象年度 H20 年度

評価実施年度 H21 年度

担当部局	部局名	保健福祉部
	課室名	健康推進課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	全国的に自殺者は増加傾向にあり、なかでも豊後大野市は県内でも自殺率が高いうえ精神科医療機関もない。平成18年に制定された自殺対策基本法でも地方公共団体の責務として自殺対策を推進していく必要がある。				
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	5	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	自殺対策基本法により、行政が実施するのが望ましいため。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	市内の多くの方を対象に実施する方法としては、健診会場で実施するのが効率的であるため。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	集団健診でうつスクリーニングを実施することは効率的であるが、スクリーニングの面では効果があがりにくい。フォロー者への対応は実施できている。				
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	自殺・うつ対策推進事業は、平成19年度より県のモデル指定を受けて実施しているため、21年度までは県が予算化している。うつスクリーニング、講演会のほか、市独自で相談事業等を実施している。				
人 体 員 制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	平成21年度までは、県の事業であるため、現状維持で対応する。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	豊後大野市の自殺者数は依然高い状況。今後もうつ予防の普及啓発、スクリーニングによる早期発見を実施し、自殺・うつ予防対策を推進していく。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
今年度より事業内容として、地域の自殺・うつ対策を検討する会議（検討会）や、身近に相談できる人材育成を盛り込み、自殺うつ対策に主体的に取り組む地域づくりを目指していく。					
部 長	課 長	班 長	担 当 者	内線 E-mail @bungo-ohno.jp	